

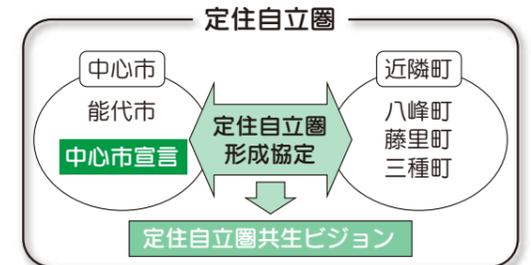
定住自立圏形成協定を締結

～能代市山本郡の1市3町が力を合わせ地域活性化へ～

全国で95の圏域が形成されている「定住自立圏」（H27.10.1現在）。県内では、大館市、由利本荘市、横手市、湯沢市・羽後町・東成瀬村の4圏域が形成されているほか、小坂町は青森県十和田市などと県境を越えて圏域を形成しています。

能代市山本郡においても、それぞれの12月議会で「定住自立圏形成協定の締結」について議決されました。ここでは「定住自立圏」がどういった取り組みなのかを紹介します。

定住自立圏のイメージ



Q 定住自立圏とは？

国の定住自立圏構想に基づき、都市機能を持つ「中心市」と、自然環境や文化などの魅力を持つ「近隣市町村」が互いに連携する。様々な分野で連携することで、圏域の住民にとって必要な生活機能の確保や人口の定住を促し、地域の活性化を図るといったもの。あくまで連携であり、市町村合併とは異なります。

Q 定住自立圏形成協定とは？

各市町の12月議会で協定の締結が議決されたことを受け

圏域で連携する政策分野と主な取り組み

- ①生活機能の強化
地域医療体制の充実・強化／子育て支援の充実／学校教育の充実／広域観光の推進など
- ②結びつきやネットワークの強化
地域公共交通の維持確保と利用促進／道路等の維持管理／移住定住の促進／松枯れ対策など
- ③圏域マネジメント能力の強化
圏域市町職員の交流・合同研修など

Q 今後の動きは？

今年度中に、今後連携する具体策を盛り込んだ5年計画の「定住自立圏共生ビジョン」を策定する予定です。共生ビジョンは、連携する

て、中心市の能代市と近隣町がそれぞれ「1対1」で締結しました。協定には定住自立圏を形成し、相互に役割を分担して連携を図る基本方針や、連携する政策分野、取り組み内容などを規定しています。主な取り組み内容は左図のとおり。詳しくは町のホームページをご覧になるか、八峰町企画財政課でご確認ください。

分野に関係する団体や各地域の代表者等で構成する「定住自立圏共生ビジョン懇談会」の意見を伺うほか、パブリックコメントで寄せられた意見を反映させて策定されます。人口減少社会を乗り越え、八峰町をはじめ能代山本を活力ある地域にしていくためにも、要望や意見をお寄せください。

定住自立圏共生ビジョン(案)パブリックコメントを実施します

■募集期間 2月1日(月)～3月2日(水)

■意見を提出できる方

- ①能代市山本郡に在住、在勤、在学する方
- ②能代市山本郡に事務所または事業所を有する個人や団体
- ③その他利害関係がある個人や団体

■ビジョン(案)閲覧場所

八峰町…役場庁舎1階企画財政課、ファガス、峰栄館
※能代市のホームページのほか、各市町本庁舎等で閲覧できます。

■意見の提出方法

意見提出用紙に必要事項を記入の上、閲覧場所で直接提出するか、郵送・FAX・電子メールのいずれかで提出してください。
〒016-8501 能代市上町1-3 能代市企画部総合政策課政策係
FAX 89-1762 電子メール sougou@city.noshiro.akita.jp

■意見の取扱い等

電話や口頭での意見は受付できません。提出された意見は内容を整理し、意見に対する市の考え方をホームページなどで公表します。住所、氏名、年齢、性別は公表しません。個別の回答は行いません。



先日行われた共生ビジョン懇談会の様子

厄払い・還暦祝いを開催

人生の節目に無病息災と健康長寿を祈願

2月1日、厄年の修祓式が八森地区は白瀑神社で、峰浜地区は峰栄館で行われました。

白瀑神社では、数えの42歳(男性)と33歳(女性)が、人を形取った「形代」にそれぞれ厄を移し、神事でおはらいを受けました。その後、白瀑前へ場所を移し、記念撮影を行いました。

峰栄館では、42歳と33歳が合同で厄を払い、出席者は災いが起こらないよう思いを込めて、玉串を捧げました。終了後は、一人一人御神酒を拝受し、記念撮影を行いました。

また、峰浜・八森地区ではそれぞれ、数え60歳の還暦年祝いも開催されました。両地区を合計すると115名の方々が出席し、思い出話に花を咲かせるなど、にぎやかな「年祝い」となりました。



心身の健康を祈願 (峰栄館)



真剣な表情で神事に臨みました (白瀑神社)



今後の充実した人生を祈りました (峰栄館)



健康長寿を祈願 (白瀑神社)